大下家資料について

平成２７年９月、高遠藩士末裔の大下氏より、所有する古文書の寄託依頼があった。

資料には、高遠城曲輪の詳細絵図や、城内へ水を引いた際の経路図、砲術や軍学の免許状、大坂冬・夏の陣の配置図、諸絵図等があり、特に高遠城関係資料は新出資料であり、今後の高遠城研究のためには必須の資料である。

①高遠城と御用水に関する新出資料（1-7，1-8，1-9）

高遠城内へ沢水を引く計画図で、城内の南曲輪の詳細が分かる図面が付属している。

引水ルートは今まではっきりしていなかったので、新出資料として今後の研究が期待される。また、南曲輪の泉水や植栽の配置が寸法とともにえが　かれており城内の庭園がどのような姿だったのかを知ることができる貴重な資料である。

②高遠藩士の席順表や勤仕録（1-4,1-12～14）

高遠藩士の階級や廃藩時の様子がわかる資料である。

③砲術や軍学等の武術免許状と関連書物

武士の本文ともいえる武術に関する免許や教本。

④大坂城の絵図（3-4～7,3-12）

大坂夏の陣・冬の陣の配置図で、後年の写しと思われる。真田丸等の記載も見える。

⑤林子平図（写し）や蝦夷地関係の絵図（3-2-1～5,3-3,3-9,3-19,3-20）

江戸時代後期の海防学者、林子平が著した『三国通覧図説』の付図を写した絵図で、伊豆大島や蝦夷地や琉球等を描いたもの。

⑥中村元恒、元起に関する資料（3-11,4-6～8）

中村家旧蔵の絵図（「希月舎蔵」印）や、中村元恒、元起の業績をまとめた資料。元起が藩校進徳館で行った指導方法等も記されている。

⑦大下家の家譜や日記等私家資料（5-2～7）

高遠町図書館